

# 勿来工業高等学校建築科OB会 事務局だより

発行日 平成28年4月1日	制作者・発行所 いわき市石森二丁目1-13 事務局 千葉良司 TEL 0246-35-0631 FAX 0246-35-0632	発行者 勿来工業高等学校 建築科OB会 会長 福富大祐
第 22 号		

No.	行事名	日付	場所	参加者
1	幹事会	2015年4月22日	労働福祉会館	9名
2	総会	2015年6月27日	いわきワシントンホテル	53名
3	幹事会	2015年10月21日	労働福祉会館	6名
4	新年会	2016年2月6日	ホテル ミドリ	11名
5	設計コンペ審査会	2016年2月14日	ノア・アーキテクト	4名
6	同上表彰式	2016年2月29日	勿来工業新校舎会議室	5名

*****No.1幹事会*****	
幹事会	平成27年4月22日(水) 18:00~20:00 いわき市 労働福祉会館 会議室
小林 仁 5 嵐 繁雄 6 福富 大祐 7 千葉 良司 10 佐藤 敏男 12	高原 典宏 14 四家 康正 21 橋本 浩喜 25 佐藤 則之 31



6月に開かれる総会を前に、幹事9名が出席して会合が開かれた。幹事会に準備された資料は5種類の印刷物である。レジュメ、総会冊子、総会議案書、総会を案内するためのお知らせ、そして会則を大幅に変更するために、事前から何度も検討してきた会長が自ら作成した資料が出席者の机に並べられ、高原事務局長の進行で進められた。福富会長が挨拶をすると、そのまま会則変更についての検討が資料を基に行われた。建築科卒業生が52回生で2000名を超えることになった。執行部の事務仕事を簡素化させなければならない。毎年の名簿管理、会費未納通知などを合理化させるために検討してきた。今後、総会通知は幹事のみハガキで連絡し、幹事が各クラスの参加者をまとめて事務局長に報告する。終身会費は、5,000円とし入会時に納入する。大きな改正はこれらの内容となる。これをこの幹事出席者で話し合い総会に向けての意志が固まった。その他、総会冊子の内容の一部を確認した。決算収入約48万円、支出46万円、差し引き1万8千円の黒字。予算は前年度と比較して約半分とした。役員改選は現状維持。新入会員の幹事は、渡辺組と常磐開発に勤務していることを紹介した。総会に向けての内容が確定されて、後日総会案内通知をセットして総会開催を待つこととなった。

*****No.2総会*****	
総会	
平成27年6月27日(土) 17:00~20:30 いわきワシントンホテル3階カナリヤ	
来賓	富樫要次様 元建築科長 寺島弘幸様 建築科長(1年担任)
	深谷茂樹様 校長 佐藤秀生様 2年担任(建築担当)
	荒川俊一様 教頭 高瀬善益様 同窓会会長
	松崎彰彦様 教頭
OB会 員	榎田常雄 1 箭内栄 6 鈴木秀明 10 佐藤博史 18 西瀧直幸 40
	鈴木正吉 1 平子恵俊 9 千葉良司 10 鈴木忍 18 神田千波也 43
	鈴木茂信 4 石山圭一 7 猪狩孝 11 緑川章 18 直井智 43
	高杉吉正 4 志賀利光 7 渡辺久 11 渡辺善智 18 大平優介 44
	渡辺忠敬 4 根本隆男 7 安齋健治 12 渡辺法広 18 鎌田耀 51
	小林仁 5 福富大祐 7 佐藤敏男 12 四家康正 21 三部海 52
	嵐繁雄 6 吾妻正一 8 高原典宏 14 金成明美 24 参加人数
	清水徳男 6 柏原正治 8 荒川利家 15 橋本浩喜 25 来賓7名
	高橋貞徳 6 榎本邦正 10 遠藤誠 18 佐藤則之 31 会員46名
	仲居二郎 6 鈴木俊美 10 鎌倉謙二 18 小野太一郎 40 合計53名

**総会** 当会は23回目を迎え建築科の卒業生が2003名となりました。その全ての方が当会の会員であります。この中で亡くなられた方54名(届出あるもの)、通知不能者628名、現在通知可能な会員は1321名であります。この方々へ総会のご案内を通知し、本日ここに参加していただいた会員は46名、来賓7名、合計53名の会員等で総会、懇親会が開催されました。通知に対する参加者の割合は4%ですがそれでも沢山の参加をいただき感謝しております。午後5時から総会が開催され、司会者である鈴木忍さんにより進められました。副会長の開会宣言、会長のあいさつ(全文紹介有り)の後、渡辺久さんが議長となり総会が進行されました。総会レジュメに従って事業報告、収支決算、会計監査報告、事業計画、収支予算が報告され、皆様の同意を得て議案が可決いたしました。今回は一部会則の変更を提案いたしました。そのことについて紹介いたします。終身会費は1万円のみですが、今後の新入会員からは会費を5000円として、卒業時に一括受領とする。新会員からお預かりした会費は、新会員へ会費の一部を還元できる形とする。会員数の増大により、全会員の総会通知を廃止する。代案として各回生幹事へ通知し回生毎に集約し事務局長が取りまとめ、事務局負担と経費を軽減する。以上の内容を会長が総会席で説明しました。2、3の意見や質問が有りましたが、この方針で運営することを承諾していただきました。今後はOB会のホームページを活用して積極的に会報を伝達していきたいと考えております。渡辺久議長役、鈴木忍司会役ご苦勞様でした。



**福富会長** 皆さんお晩でございます。今日は足元の悪い中お越しいただきありがとうございます。今日の出席予定人数は50名となっております。今年の総会の目的は、総会の案内でお知らせしてありますように、OB会事務局の負担を軽減させることです。今年には会員(建築科卒業生)が2000名を超えることになりました。名簿の管理や会員への通知の量が多くなり年々事務処理が増加していております。この問題を中心に総会を進めていく予定であります。何とぞ宜しくお願いいたします。さて学校の方ですが、大震災が起きて5年目に入りましたが、体育館、新校舎とも昨年、今年と順調に竣工いたしました。盛大な祝賀会が開かれました。震災以降、建築に対する要請が高まり、OB会の先輩、後輩の皆様が設計、施工に携わりまして、生徒たちも刺激を受け、勉強になったようです。先生の方からも感謝の言葉を頂いております。それから今年も生徒たちの卒業設計作品を審査させていただきましたが、復興と言うテーマをもとに作り上げ、生徒たちの意欲を感じさせる作品に出会うことができました。新しい芽が出始め、育ち始まったように感じました。私たちOB会もいろいろな形で教育参加をさせていただきたいと考えております。また昨年

は、有志によるゴルフコンペも盛大に開催されました。また事務局だよりにも掲載されたように、各回生のクラス会も活発に開催されていたようです。このような状況を見ると、少しづつ心に余裕が出てきたのかなと感じました。そんな中でも、まだ震災復興に多忙を重ねていると思います。皆様には心身共に十分注意されて過ごされることを祈念いたしましてご挨拶いたします。本日はよろしく願いたします。

**懇親会** 引き続き午後6時より懇親会が開催されました。佐藤敏男さんが司会を勤め、会長あいさつの後来賓7名から祝辞とご挨拶をいただきました。会長、来賓あいさつは全文を紹介いたします。そして富樫先生の乾杯の掛け声により懇親会の扉が開かれました。会場には丸テーブルが6個並べられ、来賓席、1回生席から52回生席まで団塊ごとに席が設けられ、同世代に近い会員ごとの団結ができました。しかし会の時間が増していくに従って、世代を超えた交流ができ、会員、来賓が一つにまとまった会場と化しました。2時間以上の懇親会が過ぎ、慣例となった全員が立ち上がったの校歌、応援歌の合唱がありました。校歌の音頭取りは、4回生の鈴木茂信さんが受け持ち、応援団の経験者のごとく手振りが見事でした。応援歌は6回生の嵐繁雄さんが歌の先導をしました。中締めは4回生の渡辺忠敬があいさつをし、三三七拍子の音頭により益々のOB会の発展を祈念して無事会をお開きとすることができました。



**福富会長** 先程は52回生を迎えてのOB会総会を開催することができました。OB会が2000名と言う大所帯になりまして、今後の会の運営方法も改正を皆様にお諮り(はか)りし、承認をいただきました。これからも益々新たな歴史を作り上げていきたいと思っております。本日は、学校から深谷校長先生をはじめ、多くの先生方にお越しいただいております。おいでいただいた先生方には是非ともお話を伺いたいと思っております。ニュースをひとつお伝えします。11回生の小野武志さんが運営しております東洋ハウス工業株式会社が、昨日福島県のHPで発表になりまして、福島県災害復興公営住宅、木造戸建て住宅型、小川地域。県の買取型公共工事のプロポーザルの結果、2社指名中の1社に選定されました。非常に励みになる話と感じましたのでご報告いたします。今日は、1年ぶりの皆さんとの再会です。懇親を楽しみにしております。

**深谷校長先生** 皆様こんばんは。本日はOB会総会誠にありがとうございます。学校の紹介をさせていただきます。校舎の改築工事が昨年5月に完成しました。11月末に本校舎が完成しまして、現在は旧校舎の解体工事が進んでおります。OB会の皆様は懐かしいのではないかと思います。解体というのは、大変寂しかとは思いますが、解体がかなり進んで参りまして、正面から新しい校舎が見えるようになってきております。今後解体が終わりましたら、その場所に陸上のトラックと裏には、駐車場スペースを予定しております。それが終了すると、建設工事は全て完成することになります。今年度中には完了を予定しておりますが、順調に行っていきたいと思っております。それから夏になりますと、野球のシーズンですが1回戦、皆さんご存知かもしれませんが、聖光学院高校と戦うことになりまして、多分それに勝って甲子園に行くのではない

かと考えております。生徒たちも組み合わせが決まってからは、かなり気合が入っておりまして大変楽しみにしているようです。我々も応援したいと思っております。それから7月になりますと、就職活動が始まりますので、ここにおいでの方皆さん、できますれば3年生をご支援いただければ嬉しいと考えております。今後とも本校にご支援のほど宜しくお願いいたします。

**荒川教頭先生** 皆様こんばんは。本年度で勿来工業勤務が2年目となりました。先ほど校長の方から野球部の話がありましたが、他の部活動はほとんどの部が県大会出場をいたしております。中でも今年は、空手道部がインターハイに行っております。それから、水泳部、ウエイトリフティング部などは東北大会出場と生徒たちはかなり一生懸命頑張っております。私もかつては勿来工業高校の生徒として、富樫先生に教えていただくことはできませんでしたが、他のいろいろな先生方にご指導していただきました。その当時の生徒の姿は、元氣いっぱい勇気あふれる友人がたくさんおりました。最近の生徒は大人しいように感じております。しかし勿来工業は、部活動をはじめ文武両道の道を進んでおります。そして学校も力を入れておりますが資格取得が活発であり新聞にも頻りに掲載されるようになりました。今後とも勿来工業高校をご指導、ご支援をよろしく願いたします。本日は第23回総会誠にありがとうございます。

**松崎教頭先生** 本年度、塙工業高等学校から転任して参りました松崎彰彦と申します。私は20数年前、この勿来工業に1度努めさせていただいております。今回で2度目ということになりますがあこの当時の思い出深い旧校舎が取り壊されていくのが寂しいと毎日窓を眺めながら思っております。しかし現在キラキラと光っているあの素晴らしい校舎の中で勤務させていただいていることを本当に誇りに思っております。今の生徒たちは、20数年前の高校生活を送った明るく素直な生徒たちと全く同じであります。先生に挨拶してくれる可愛い生徒たちであります。この生徒たちをなんとか明るい未来に少しでも近づけるように努力して参りたいと思っております。これからもよろしく願いたします。

**寺島建築科長** 先程諸先生方からお話しがありましたように新しい校舎が完成し、旧校舎が取り壊されている状況で一抹の寂しさを感じておりますが、時代を越えながら歴史を積み上げてきた建築科を引き継ぎながらこれからも発展させていきたいと思っております。時代が変わって、教育環境も変化してきていると思っております。ここにいらっしゃるいわきの建設業の関係の皆様には、卒業生が毎年お世話になり育てられて本当に感謝しております。まだまだその環境を保ちながら少しでも皆様の後輩になれるよう子供達を育てていきたいと思っておりますので今後ともよろしく願いたします。

**佐藤秀生先生** 3年前から勿来工業へ転動して参りました、佐藤秀生と申します。仮設校舎で殆どの学校(生徒指導)生活を送ってきました。その仮設校舎もなくなり1週間だけ旧校舎で授業をさせていただきました。わずかの期間使用させていただきましたが、その旧校舎もなくなりますと寂しい気持ちをしております。生徒たちも同じ気持ちであることを話しておりました。先輩方も切ない気持ちでいっぱいなのではないかなと感じております。こちらに着任してまだまだ若輩者でございますが、勿来工業高校を今後盛り上げていきたいと思っている一員であります。今後ともよろしく願致します。

